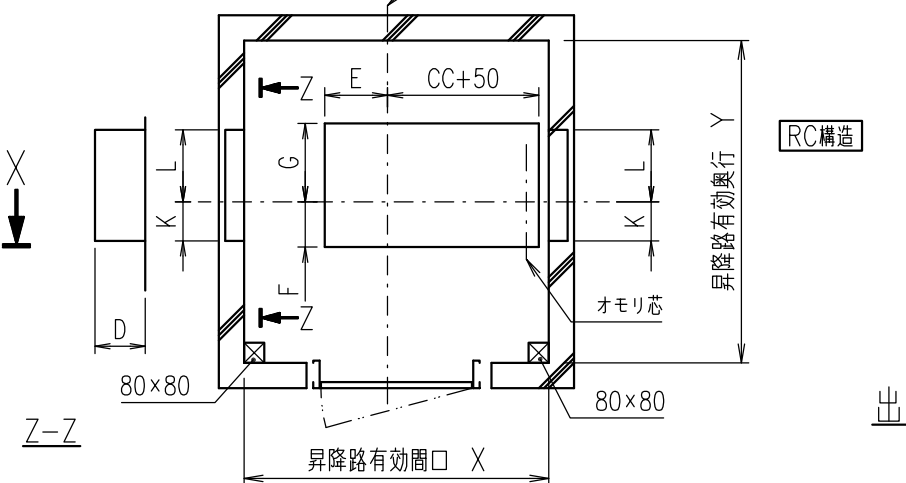
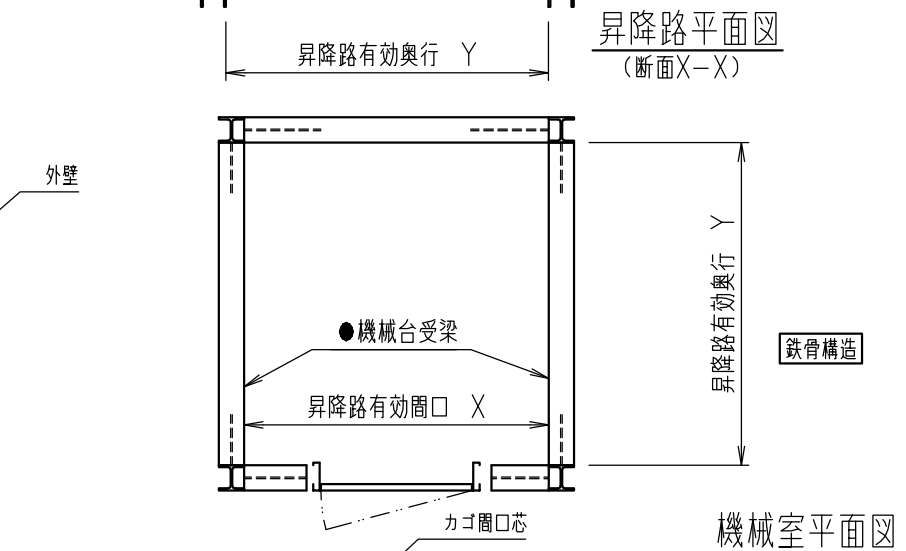
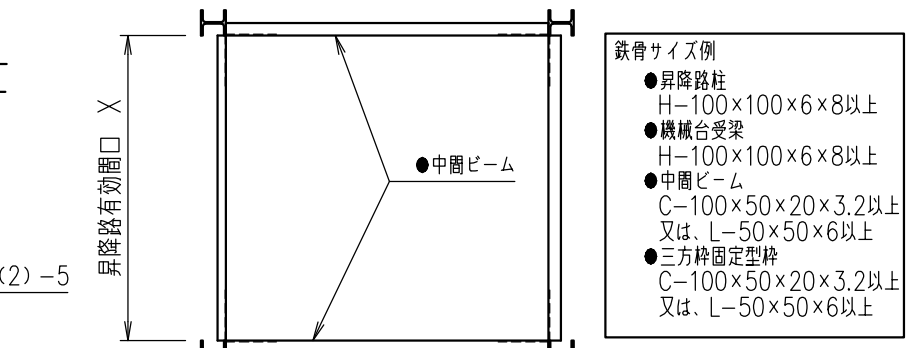
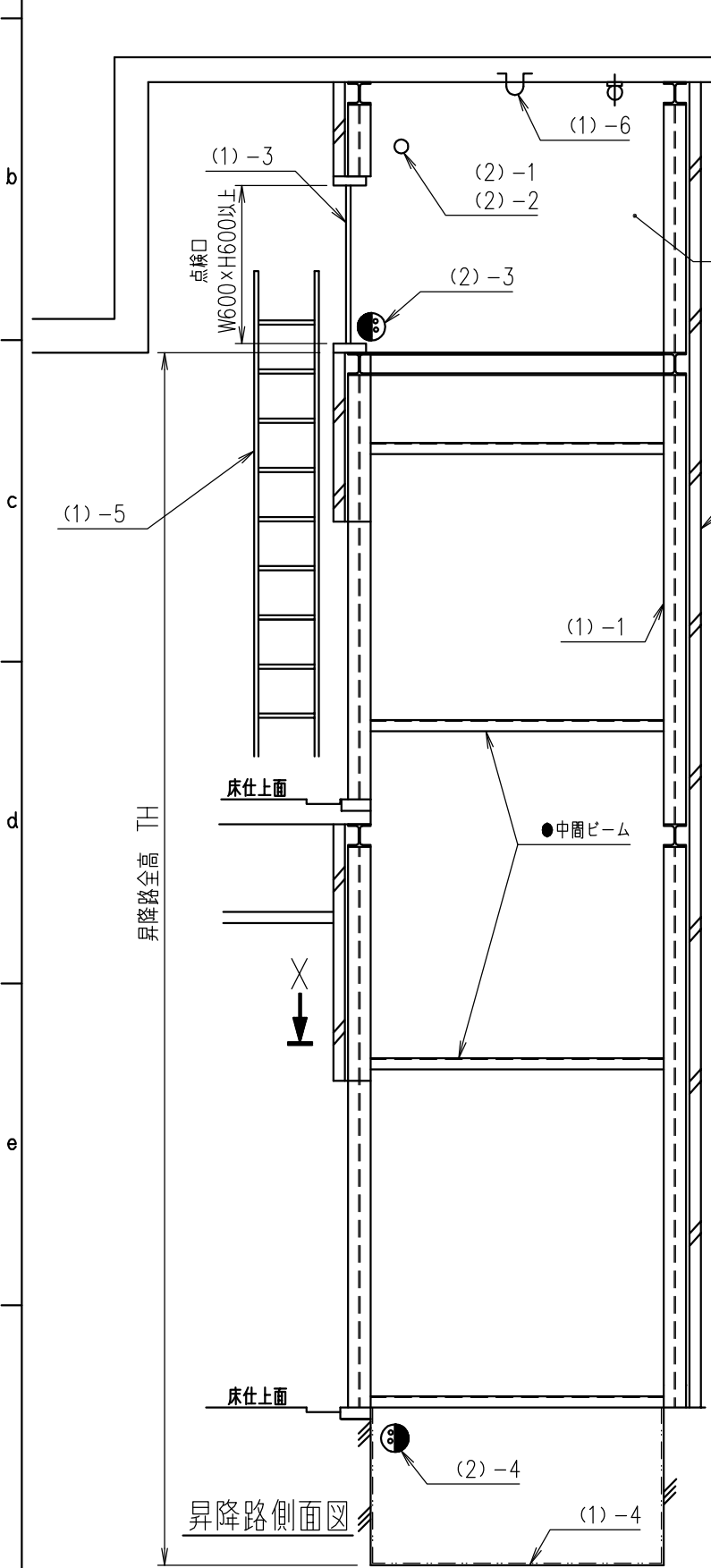


構造計算	防火関係	昇降路・壁
鉄骨サイズについては参考例です 別途構造計算を実施の上決定願います	小荷物専用昇降機の戸は、平成14年2月18日付 国土交通省住宅局建築指導課、日本建築行協会 発行の「昇降機の昇降路の防火区画について」の 通りとなります 構造については「エレベータ乗場戸の構造等に 関する標準」(JEAS-207)によります	昇降路の壁は難燃材で造り、又は覆って下さい (建築基準法施行令129条の13) 但し、防火区画の指定がある場合は防火区画に 準じた構造として下さい



積載量	巻上機	ローピング	D	E	F	G	K	L
200kg	RMG-340	1:1	200	250	180	310	155	285
300kg	RMG-350			SC/2+250	365	375	315	325
500kg		2:1	200	405	285	405	285	
500kg (材後落し)								

- 鉄骨サイズ例
- 昇降路柱
H-100×100×6×8以上
 - 機械台受梁
H-100×100×6×8以上
 - 中周ビーム
C-100×50×20×3.2以上
又は、L-50×50×6以上
 - 三方枠固定型枠
C-100×50×20×3.2以上
又は、L-50×50×6以上

【別途工事】

(1) 建築工事

No.	工事内容	図解
1	昇降路、機械室および機械室床の築造工事 注：機械室の床面積は昇降路の水平投影面積以上とし、天井の高さはおおむね1m以上とすること 但し、機械の配置および管理に支障がない場合においてはこの限りではない また、他の設備の機械室とは有効に区画されていること	(本図) 機械室床は各据付図に依る
2	機械室および出し入れ口の穴明け工事および三方枠取付後の埋め戻し工事	開口寸法は各据付図に依る
3	機械室点検口の取付工事 (防火戸施錠付)	(本図)
4	ビット穴掘りおよび防水工事 また、床掃除などで水が昇降路内に浸入するおそれのある場合は、出し入れ口の床に逆勾配または排水溝を設けてください。	(本図)
5	機械室点検用クランプまたは脚立の設置工事	(本図)
6	吊りフック (荷重5kN以上) の取付工事	(本図)

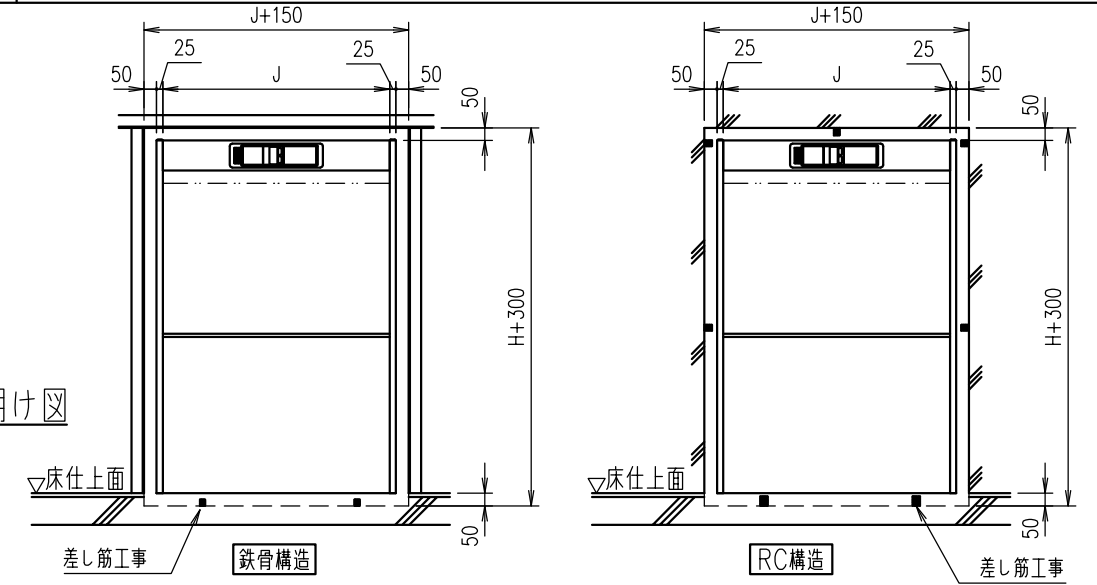
(2) 電気工事

No.	工事内容	図解
1	機械室制御盤位置までのAC200V3相電源引込工事および一次側端子への接続工事	制御盤位置は各据付図に依る
2	機械室制御盤位置までのD種接地線挿入工事および一次側端子への接続工事	制御盤位置は各据付図に依る
3	機械室に点検用照明およびコンセント設置工事	(本図)
4	ビット照明用コンセント設置工事	(本図)
5	機械室換気設備 (機械室温度が40℃を超えないように配慮ください)	(本図)

(3) その他

No.	工事内容
1	電源電圧の変動は+5%~-5%以内・電圧不均衡率5%以内に保つように電源を設置してください
2	機械室と昇降路内温度は5~40℃、湿度は月平均90%・日平均95%を超えないようにしてください
3	機械室と昇降路は有毒ガスや甚だしい塵埃などが入らないようにしてください
4	配電用ブレーカーに漏電ブレーカーを使用する場合は、感度電流100mA以上をお願いします
5	昇降路内にはリョーデンリフト以外の配線・配管は設備しないでください。 但し、昇降機に必要な設備外であっても、光ファイバケーブル (電気導体を組み込んだものを除く) は、平成17年6月1日「国土交通省告示第570号」で、設置することが認められています。
6	ビット下部を居室、通路等に使用する場合は、当該部分に居る人に対する安全対策を実施ください

出し入れ口穴明け図



改定 CHANGE	尺度 SCALE	作成日付 DATE	リョーデンリフト Gシリーズ
	NTS	'08. 7. 31	フロアタイプ 別途依頼工事図 (建築・電気)
	第3角法 3RD ANGLE PROJECTION	DIM IN mm	RE359P510
	RYODEN ELEVATOR CONSTRUCTION CO		

*昇降路関係寸法は建築の倒れ精度をプラスして計画下さい。